

日本国憲法 20 問確認テスト 制限時間 20(25)分 ※赤字が正答

問1 日本国憲法が規定する内容として誤っているものを選び。

- ① 家族に関する法律は、両性の本質的平等に立脚して制定される。
- ② 人種や信条を理由に政治的,経済的,社会的関係において差別されない。
- ③ 選挙人の資格は、国籍によって差別されない。
- ④ 華族その他の貴族の制度は認められず、栄典の授与は特権を伴わない。

→よって外国人には選挙権がない。

問2 次の文章は第 25 条である。()に当てはまる言葉を書き入れろ。

すべて国民は、(健康で文化的な最低限度)の生活を営む権利を有する。

問3 生存権が論点となった訴訟を2つ選べ。

- ① 朝日訴訟 ② 横浜訴訟 ③ 日立訴訟 ④ 堀木訴訟

→①と④ではプログラム規定説(生存権に基づく生活保護は具体的な権利を定めたものではなく、国家の指針・目標に過ぎない)が焦点に。

問4 日本国憲法が保障する人身の自由の記述として適当なものを選び。

- ① 逮捕の際には、検察官の発する令状が必要である。
- ② 唯一の証拠が自白の時、刑罰を科すことが禁じられている。
- ③ 重大な被害をもたらした行為は、実行時に処罰する法律がなくても、後に法律を制定し、処罰できる。
- ④ 無罪判決が出ても、再審が行われることがある。

→①は令状主義で正しくは裁判官の発する令状が必要、②は無罪推定の法則(補強法則)、③は遡及処罰禁止の法則、④は一事不再理の原則。

問5 次のうち日本国憲法の規定として誤っているものを選び。

- ① 公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。
- ② 国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。
- ③ 皇位は、皇統に属する男子が、これを継承する。
- ④ 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

→③は皇室典範

問6 マスメディアに接近し、意見や反論を述べる権利をなんというか。

→アクセス権

問7 プライバシー権に関する事件を選び。

①「宴のあと」事件 ②肖像権事件 ③猿払事件 ④東大ポポロ事件
→①は三島由紀夫が著作、②は肖像権について、③は公務員の政治的行為について、④は大学の自治について

問8 天皇の国事行為について誤っているものがあれば選べ。

①国会の召集 ②衆議院の解散 ③栄典の授与 ④憲法改正の公布 ⑤誤りなし

問9 第1審で初めて自衛隊が違憲であると判決が出された裁判を選べ。

①長沼ナイキ基地訴訟 ②恵庭訴訟 ③砂川訴訟 ④百里基地訴訟

他は統治行為論（高度な政治性を持ったものへの司法判断が不可）や砂川事件では、第1審→最終審への跳躍上告がポイント。

問10 大日本帝国憲法はどここの国の憲法を手本にしたか書け。→ドイツ

問11 憲法改正に時間がかかり、改正が困難な憲法を何というか書け。→硬性憲法↔軟性憲法（ex オーストラリア憲法）

問12 信条の自由に関するものを選べ。

①チャタレイ事件 ②足利事件 ③空知太訴訟 ④三菱樹脂訴訟
→私人間には干渉しない。（採用は企業の内自由）

問13 日本国憲法に記述がある国民の3大義務を書け。

→1 納税の義務 2 勤労の義務 3 教育を受けさせる義務

問14 大阪空港騒音公害訴訟は何の権利について争ったものか書け。

→環境権

問15 日本国憲法が定める国会議員の規定で正しいものを選べ。

①会期中は現行犯以外で逮捕されない
②衆議院の議員のみ議院で行なった演説について責任を問われる。
③両議員の議員は、国庫から相当額の8割を受ける。
④各院の議員5名は同時に両議院の議員を兼ねることができる。
→現行犯以外は責任を問われない。

問16 日本国憲法に規定される次の文の誤りがある箇所はどこか。

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に関係なく、

① ② ③
ひとしく教育を受ける権利を有する。 →正しくは、その能力に応じて

④

問 17 君主によって定められた憲法を何というか書け。

→

欽定憲法↔民定憲法 (国民によって定められた憲法)

問 18 冤罪事件として正しいものを選べ。

①和歌山市毒殺事件 ②吉野事件 ③島本事件 ④免田事件

問 19 第 60 条について()に当てはまるものを選べ。

予算は、さきに()に提出しなければならない。

①衆議院 ②参議院 ③衆議院又は参議院 ④内閣総理大臣の主宰する閣議
→衆議院の優越と呼ばれる

問 20 日本国憲法が公布された日はいつか書け。

→1946年11月3日(憲法記念日) 施行日の1947年5月3日は文化の日。

これからの学習について

分からない点は自分で調べよう！そうすることで、知識は定着する。諦めずに地道に努力することが大事。「〇〇大学に合格する！」という強い意志をもって日々の勉強に臨むことでモチベーションを保つ。

また、選択問題の場合は、他の選択肢のどこが間違っているのかも問題用紙にメモすることで間違いが減る上に、自分の知識を確かめることができる。問題はたくさんの出題方法を知っていた方が有利なので、できるだけ多くの問題を解きどんな出題方法があるのか知っておくのも非常に重要なポイントである。

忘れがちであるが、過去に受けた模試の受験直前の解き直しは非常に有効であり、すべて正解するまでやり込み、政治・経済の解き直しが終われば現代社会の範囲も解く。現代社会と政治経済は似た性質を持っているので出題される問題も似ている。したがって、有効であると言える。

最後に1番大事なことは志望大学の過去問を解く事である。志望大学の問題を解くことはその大学の問題傾向を掴むことであり、それが合格への近道である。敵を知る事で対策も自ずと見えてくるはずだ。例えば立命館大学を志望している生徒なら、記述が多いのは一目瞭然であるので、日頃から書いて覚えるという対策方法に辿りつくだろう。

上記で述べたことはあくまでも1つの意見であるので、参考程度になれば良いと考える。自分に合った最善の方法で受験勉強を乗り切ろう！